

更新

事業者名

一般財団法人熊本県スポーツ振興事業団

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私たちは、「県民の『体育・スポーツ普及振興』、県民の『健康増進』に貢献する」経営理念に基づき、以下の3つの戦略を掲げ、多様な事業展開により健康づくりからトップアスリートの育成、高齢者や障がい者等の健康福祉の推進を支援します。また、ステークホルダーとの継続的な対話を重視し、社会からの期待や課題に向き合い、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献します。

【3つの戦略】

1. する・みる・ささえるスポーツを通して県民に「スポーツの魅力や楽しさ」を伝える。
2. ライフステージに応じて、県民誰もが参加できる、「スポーツ活動の機会と場」を提供する。
3. 県民一人ひとりが「健康づくりや健康増進」に取り組んでもらえるよう支援する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	①落ち葉、剪定クズなどの再活用によるリサイクル率向上 ②廃棄物の削減	①リサイクル率 2023年→100%(年間60件) 2026年→140%(年間100件) ②廃棄物削減 2023年→3kg(年間) 2026年→10kg以上(3年間)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	①ペットボトルキャップを回収し、ワクチンに変える取り組みの推進 ②実習生の受け入れ実施	①ペットボトルキャップ回収量 2023年30kg→2026年→60kg(ワクチン8本分) ②実習生受入人数 2023年26名→2026年30名以上
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	①年休取得率の向上 ②地域経済の活性化事業の実施	①年休取得率 2023年57%→2026年60% ②活性化事業実施回数 2023年2回→2026年6回

<パートナーシップ>

運動を安心、安全に行える環境を提供する弊社と、行政機関、学校、競技団体、施設利用者との間に信頼関係を構築するとともに、社内においても、職員一人ひとりの状況に応じ、働きやすい職場環境の整備を図る

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・省エネタイプLED電球の計画的な導入を目標通りに、達成できた。	実施率 2020年→60%	実施率 2023年→80%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・本県児童の体力・運動能力の向上目標を上回って達成できた。 ・リモートを活用した健康プログラムの推進目標通りに、達成できた。	子どもの運動プログラム ・2020年→165本 リモート健康プログラム ・2020年→未実施	子どもの運動プログラム ・2023年→252本 リモート健康プログラム ・2023年→実施
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・同一労働同一賃金のガイドラインに沿った均衡待遇の実施目標通りに、達成できた。 ・ブライツ企業認定の実施目標通りに達成できた。	同一労働同一賃金 2020年→未実施 ブライツ企業認定 2020年→未実施	同一労働同一賃金 2023年→実施 ブライツ企業認定 2023年→実施

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。